

テストプロセス改善のお悩み相談

Case 2

コンテキストシェアリング

相談内容

お悩み事

自分の所属している組織ではシステムテストを担っているが、テストケースはなんなら昔からの秘伝のタレ状態で、何をテストしているのか見通せていない。

自分が担当している部分のテスト設計では、さまざま工夫して色々なテストケースをつくらうとしても、マネージャはそこまでやらなくてよいと言って、やりたいテストをやらしてくれない。

正直、自分が一番テストを分かっているのに周りがかたがた理解をしめしてくれない。正直つらい。

背景と現状

もっと良いテストをやりたいので、テストマネージャやプロジェクトマネージャに書籍や社外活動で学んだ知見をフィードバックしているが、意見を採用してくれず、やりたい改善活動を進められない。

達成したいこと(ゴール)

自分たちのチームでも、本来やるべき、もっとクリエイティブなテストを作って実施したい！

その他

独立したテストチーム・システムテスト・V字モデル・テスト設計

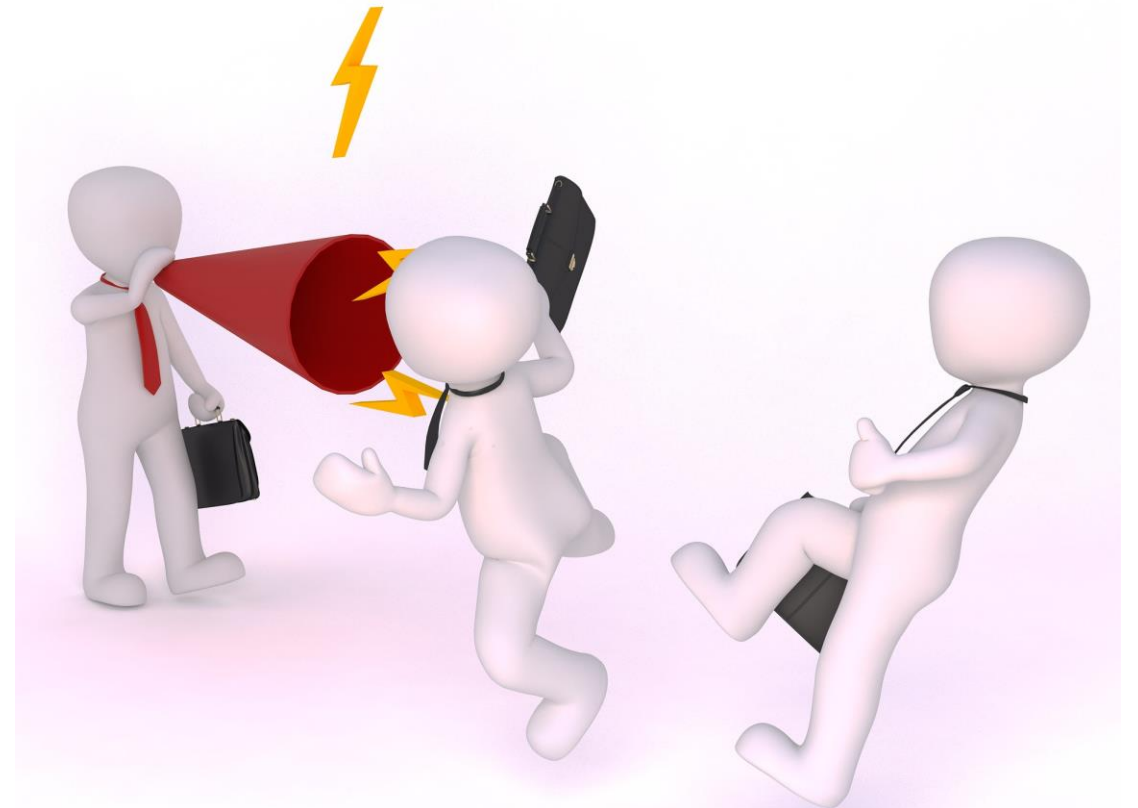
回答内容

2つの可能性があるかもしれない・・・ ※なんちゃてアンチパターンです

硬直化したお役所仕事パターン

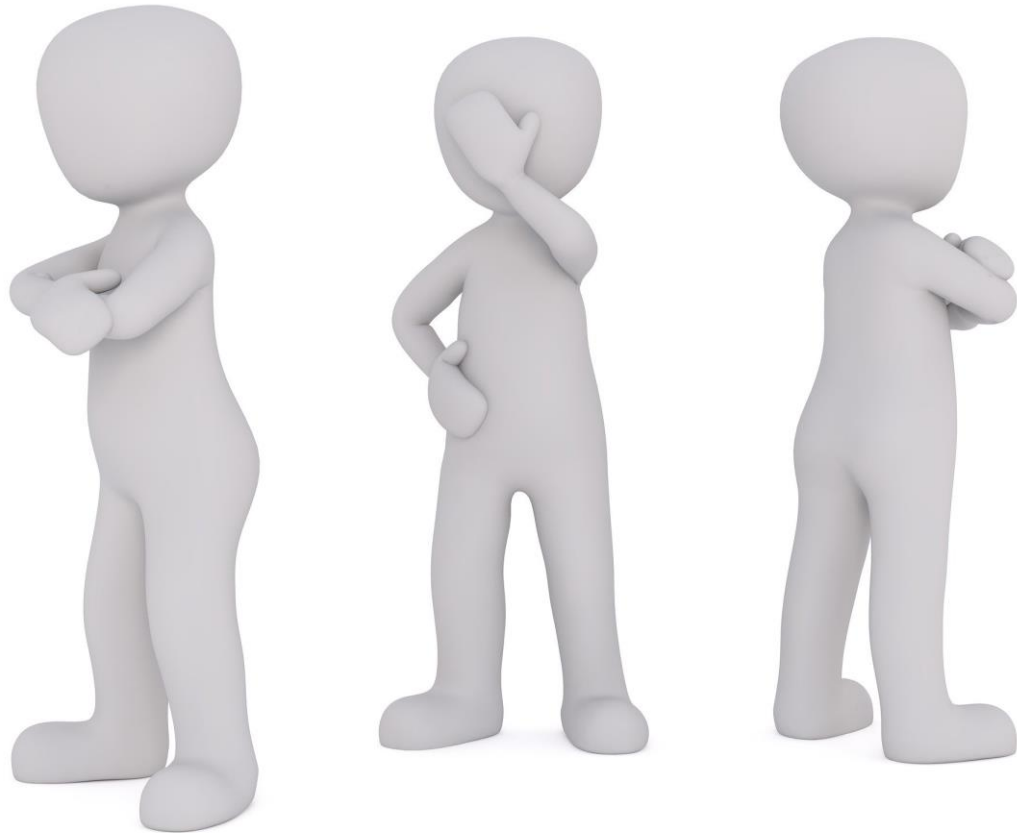


独善的な改善提案パターン



※本当のところは、より具体的な話をご本人まじえてお伺いしないと分かりません。そのため、この情報だけから判断するのは早計であり断定すべきではない点に注意してください。あくまで既存の情報からの第一感です。

硬直化したお役所仕事パターン



別名: 大企業病、思考停止、余所は余所家は家

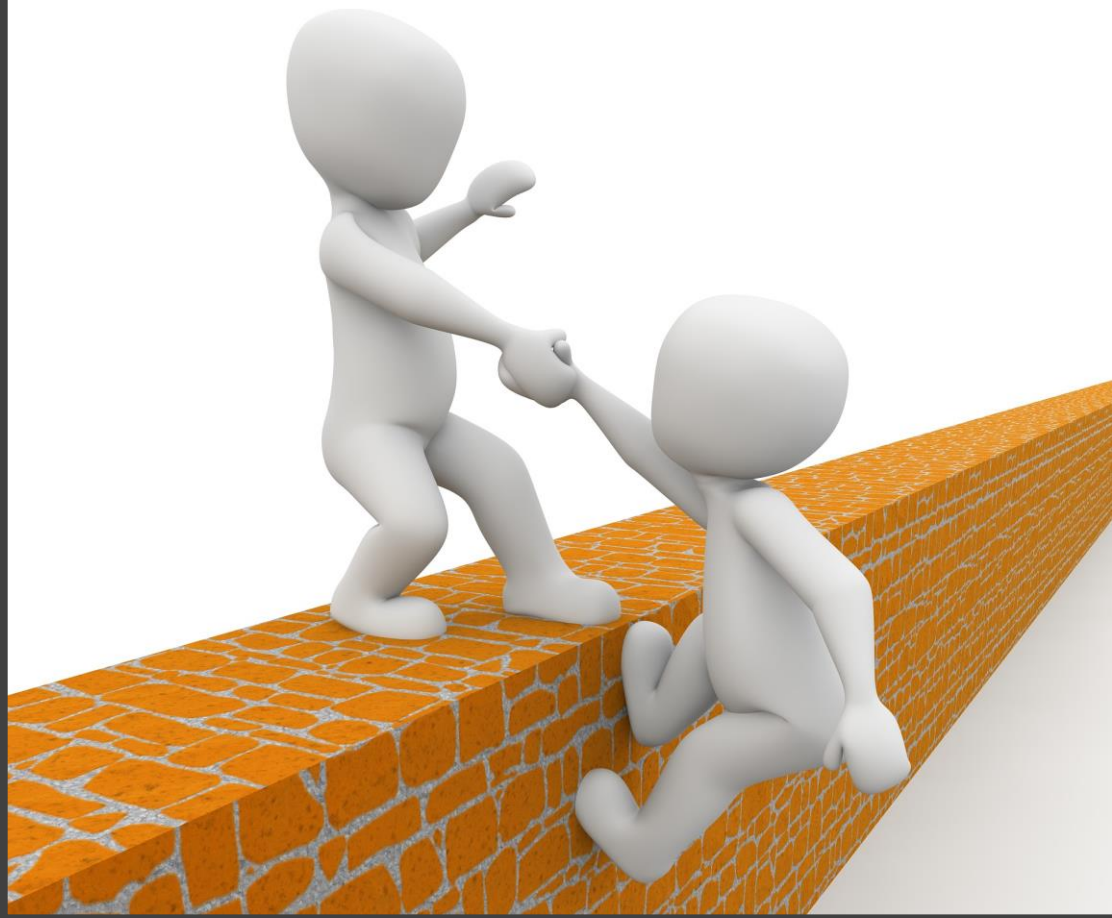
症状: 今まで行っていたことを踏襲することが是となり、自分たちに与えられた役割のみを全うしていれば良いと考えてしてしまっ、改善活動が行われないか行おうとしても進みがたい状態。

結果: 責任のなすりつけ合い、積極性の欠如、セクション主義、失敗への恐怖、改善活動の停滞など

一般的な原因: 硬直した体制やマインド、一体感の欠如、失敗が攻められる文化、リーダーシップの欠如など

硬直化したお役所仕事パターンに対する対処例

仲間を作って壁を越える



自分が偉くなる

独善的な改善パターン



別名: 誰も分かってくれない、社外活動のハシカ

症状: 提案内容そのものは技術的に正しいため
のだが、現在のコンテキストに合っていないかコ
ンテキストを無視しており、改善活動に対する利
害関係者からの合意を得られがたい状態。

結果: 部分最適に閉じた改善活動、役割と責任
を伴わない改善提案、チーム間やチーム内の不
協和音、孤立など

一般的な原因: コンテキストのアンマッチ、立場に
よる優先順位のすれ違い、視座・視野・視点の違
いなど

独善的な改善提案パターンの対処例

相手の立場の関心事で語る



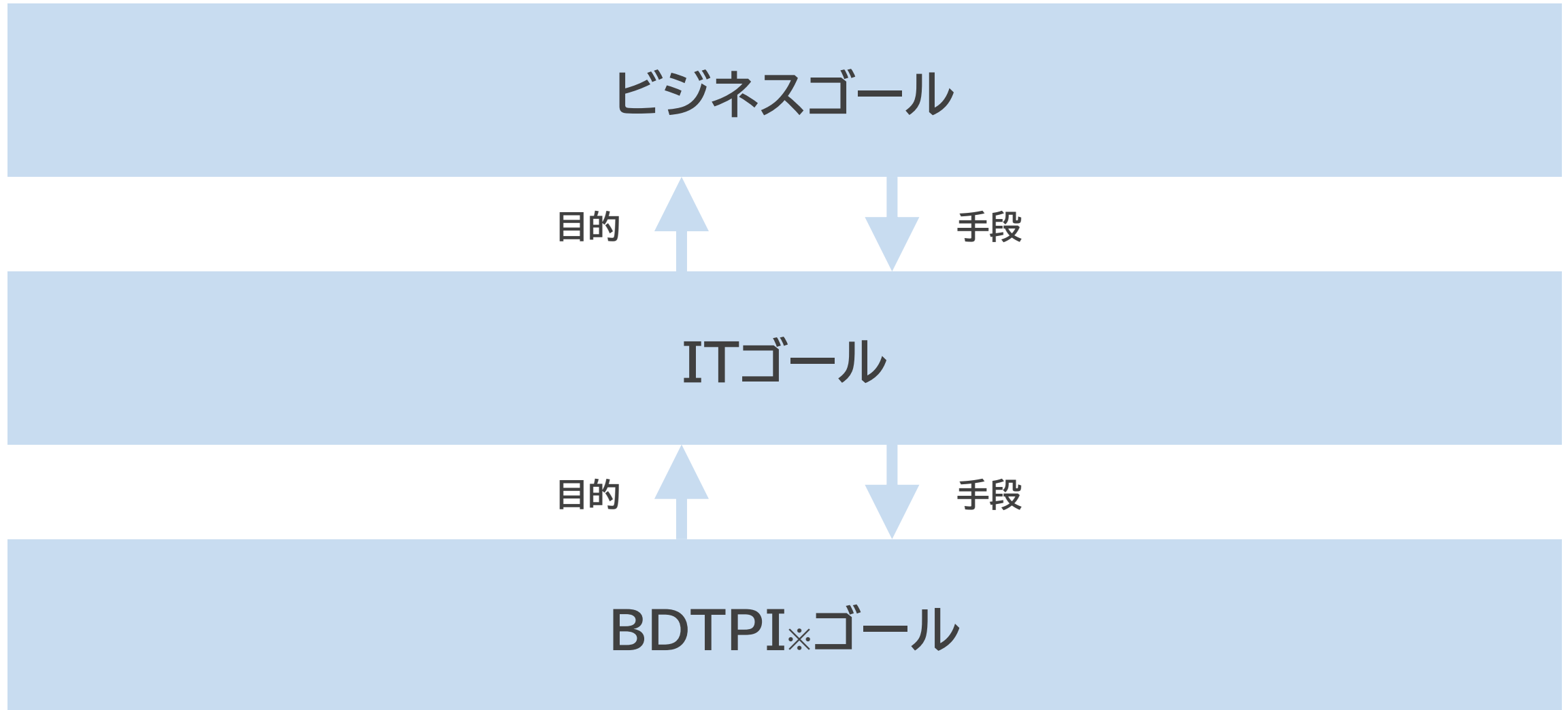
自分のやりたいことと
組織の関心事を整合させる

特に伝えたいこと

全体観を持って客観視することで気づけることも多い

- あなたの提案内容は、相手の関心事に沿った文脈になっていますか？
- 組織やプロジェクトの制約や前提を考慮したものになっていますか？
- 相手を責めるのではなく相手に寄り添うマインドになっていますか？
- やりたいことではなく、やることによる価値を伝えられていますか？

TPI NEXT[®]ではビジネス主導のテストプロセス改善を述べています



※TPI NEXTの別名と考えてください。TPI NEXTはBDTPIモデル(Business Driven Test Process Improvementモデル)に基づいて改善活動を進めていきます

16あるキーエリアの約1/3を「利害関係者との関係」が占める

		初期レベル	コントロールレベル				効率化レベル				最適化レベル		
利害関係者との関係	1 利害関係者のコミットメント		1	2	3	4	1	2	3	1	2	3	
	2 関与の度合い		1	2	3	4	1	2	3	1	2		
	3 テスト戦略		1	2	3	4	1	2	3	1	2		
	4 テスト組織		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3
	5 コミュニケーション		1	2	3	4	1	2	3	1	2		
	6 報告		1	2	3	1	2	3	1	2			
テストマネジメント	7 テストプロセス管理		1	2	3	4	1	2	3	1	2		
	8 見積もりと計算		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3
	9 メトリクス		1	2	3	1	2	3	4	1	2		
	10 欠陥管理		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3
	11 テストウェア管理		1	2	3	4	1	2	3	1	2	3	
	12 手法の実践		1	2	3	1	2	3	4	1	2		
テスト業務の専門性	13 テスト担当者のプロ意識		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3
	14 テストケース設計		1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	
	15 テストツール		1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	
	16 テスト環境		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3

単に技術やツールを導入して
正しいことをやれば改善できる
わけではないし、利害関係者を
無視して進めることは難しい

究極的には一緒のゴールを向いてみんなが進んでいくことが大事

さあ、Let's discussion!

ご静聴ありがとうございました